



# 情報公開・議会

## 情報公開・個人情報保護制度

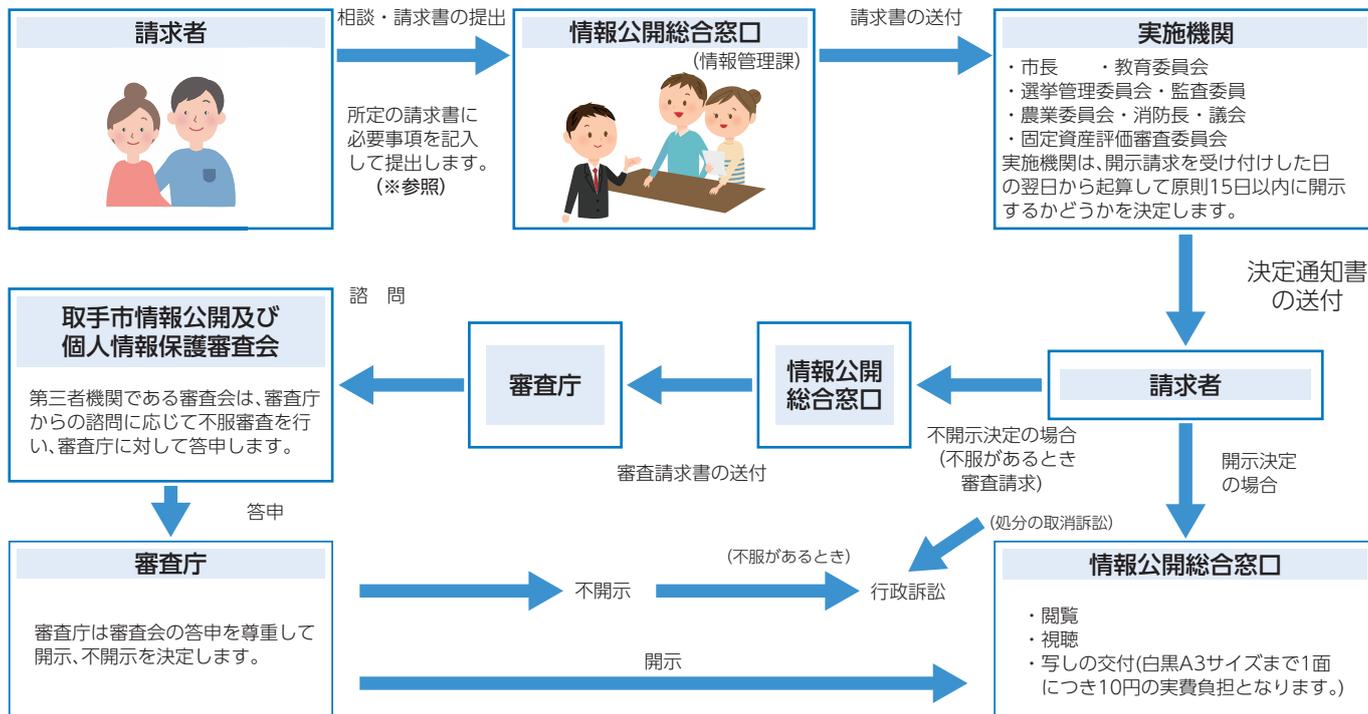
問合せ 情報管理課

市では、市民の「知る権利」を保障し、市民の市政への参加を推進するため、取手市情報公開条例に基づく情報公開制度を実施しています。

情報公開制度は、皆さんからの請求に基づいて、個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をしながら市が持っている情報を公開するもので、地方自治の基本からも行政機関が説明責任を果たすための重要な制度です。

本来、市で取り扱っている情報（公文書など）は、市と市民の皆さんとの共有財産です。情報を公開し、市民の皆さんと情報を共有していくことで、より公正で民主的な市政の実現を目指しています。

### 請求から公開までの流れ



※請求書の提出方法は、インターネット申請・郵送も可。

ただし、個人情報の保護に関する法律に基づく自己情報の開示については、本人確認の上、窓口および郵送での請求となります

## 市民相談

問合せ 市民協働課

### 市政提案制度、陳情・要望

市政に関する意見、要望を受け付けています。より多くの皆さんに市政に参加していただくため、市政運営に対する考えやアイデアなどを提案いただく「市長への手紙」用紙を市各施設に配置しています。また、市ホームページから意見をお寄せいただく市政提言コーナーページがあります。市政に対するご意見・提案をお待ちしています。

### 市民相談

市民の身近な相談窓口として日常生活における悩みごとやトラブル、苦情などについて、さまざまな相談を受け、その内容について助言したり、各行政機関などへの紹介、また適切な各種専門の相談先へ案内しています。また、毎月無料で弁護士など各種専門家による相談を行っています。詳しい日程は48ページをご覧ください。

# 議会

問合せ 議会事務局

## 取手市議会

取手市議会の議員定数は24人です。

定例会は、年4回(おおむね3・6・9・12月)、また、必要に応じて臨時会が開催されます。

## 議会の傍聴

傍聴人受付カードに、住所、氏名を記入していただければ、どなたでも傍聴できます。

なお、傍聴席には限りがありますので、団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局にご連絡ください。

## 請願・陳情

請願や陳情提出の様式などは市ホームページからダウンロードできます。詳細は、議会事務局へお問い合わせください。

## 情報はココから！議会広報「ひびき」

### ＊ウェブ版取手市議会だより「ひびき」

定例会終了後の約1か月までの間に、議会での情報や各種取り組みの内容などを分かりやすくお届けします。議員の一般質問動画へのリンクもあります。



### ＊紙面でも 概要版「ひびき」

市内の駅、郵便局、一部大手スーパー、公共施設など約100カ所に配置。同じものは市ホームページからも見ることができます。また「イバラキ イブックス」「マチイロ」「ちいき本棚」の外部サイトでも。

## ひびきメール(議会メール)

議会事務局では、議会の日程や一般質問通告事項などを電子メールで送る「ひびきメール」を行っています。「ひびきメール」を希望する場合は、登録が必要になります。

### 登録方法

- パソコンやスマートフォンで受信される場合は、市ホームページ(<https://www.city.toride.ibaraki.jp/>)から。
- 携帯で受信される場合は、市携帯サイト(<https://www.city.toride.ibaraki.jp/mob/>)から登録できます。

## 取手市議会・議会事務局公式Facebook

取手市議会・議会事務局では、開会中・閉会中問わず、議会に関するトピックスを迅速に・正確に・分かりやすくお届けするため、Facebookページを作っています。ぜひ、フォローしてください。



## 市議会会議映像配信

市議会会議の録画映像を、パソコンやスマートフォンで見ることができます。また、会議開催中は、ライブ中継を試験的に下記リンクのYouTube「取手市議会公式チャンネル」で配信しています。また、委員会の映像配信では全国でも珍しく議会の様子を360度カメラで配信しています。お好きな角度で委員会を見てください。

会議の実況・録画映像を配信しています！！

視聴は下記のサイトからご覧ください。

<https://bit.ly/2NlOWzV>



## 参加しませんか？意見交換会

取手市議会では、市民の皆さんとさまざまなお話をする意見交換会を定期的に行っています。議員と直接お話ししてみませんか。日時など詳細は議会報「ひびき」やFacebookなどでお知らせしていきます。ぜひご参加ください。



車座による意見交換会

## デモテック(デモクラシーとテクノロジーの造語)

取手市議会は、官民学連携協定により、議会のさらなるICT化導入を進め、新しい民主主義の手法構築に向けてチャレンジしています。

左から(一社)地域経営推進センター代表理事、東京インタープレイ(株)代表取締役社長、北川正恭氏(早稲田大学名誉教授・早稲田大学マニフェスト研究所顧問)、当時の市議会議長、議会事務局長



令和2年6月のデモテック協定締結時の取手市議会議場にて

## 取手市議会は3年連続全国トップスリー

議会の改革度ランキング2022で、取手市議会は3年連続で全国トップスリーにランクインしました。(早稲田大学マニフェスト研究所調査)

さまざまな市議会の取り組みを数値化してランキング化したもので、議会機能強化、住民参画、情報共有などの各分野でも評価されました。議場に来られないときは上記YouTubeでもご覧いただけますのでご視聴ください。